

学校だより アンケート特集号

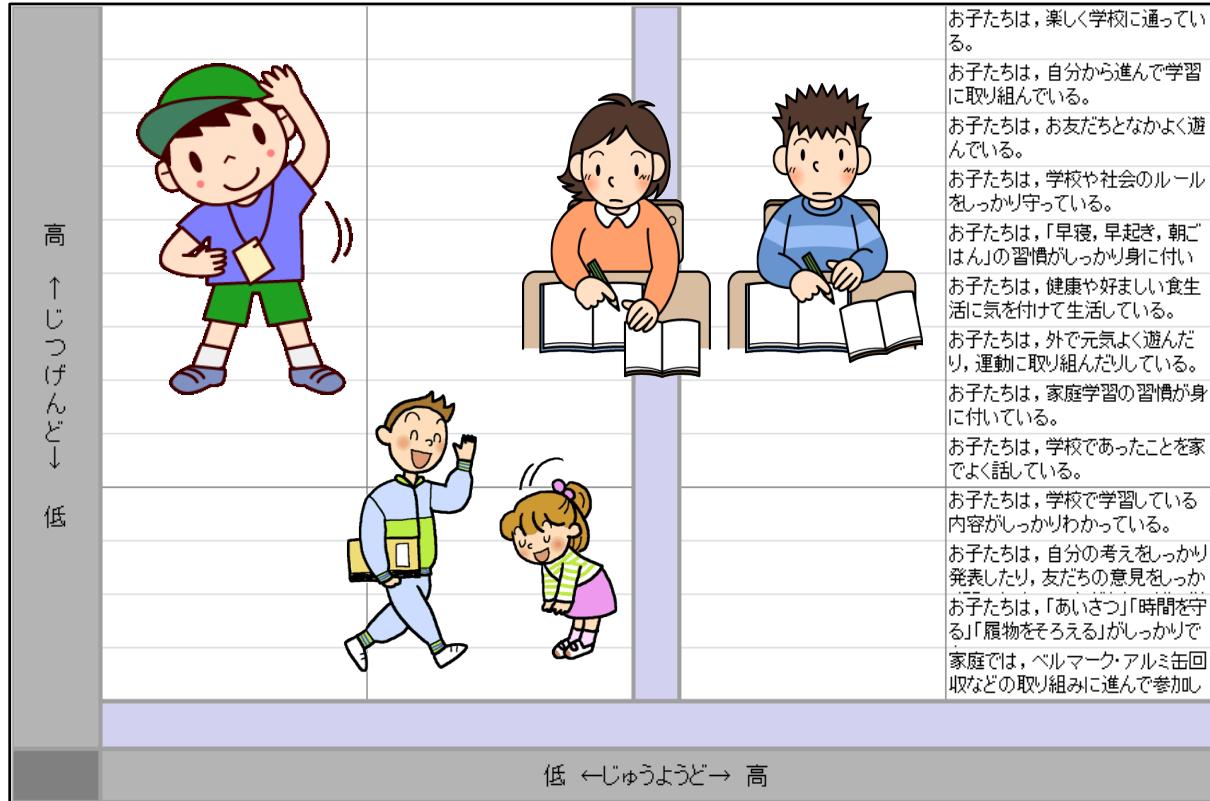
平成31年1月
京都市立桂東小学校
校長 和田 英明

12月に実施いたしました学校評価アンケートの集計結果が出ましたので、お知らせいたします。

児童に対するアンケートは発達段階を考え、実現度のみを回答していますが、今回も保護者の皆様には、重要度と実現度の2つについて段階をつけてお答えいただいている。

これは『大切であるのに、現実には出来ていないこと』を浮かび上がらせ、改善の指針とさせていただきたいと存じます。

<分布図>



大切なに出来ていないこと

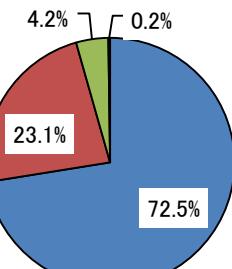
上記の分布図では、保護者の皆様が重要であると考えていることと保護者の皆様からお子たちをご覧になってお子たちが実現できているのかを表しています。

保護者の皆様はどの項目も大事であると考えておられることがよくわかります。その中でも「お子たちはたのしく学校に通っている。」が一番実現度が高くなっています。わたくしたち教職員にとっては、もっとも嬉しい結果となっております。子どもたちにとって、友だち関係のことや学習のことなどで、自分の思うようにいかないこともあると思います。また、高学年になるほどモチベーションを持続して主体的に取り組むことが難しくなり、学校生活に意義を見い出しにくくなっているようにも感じます。

“楽しい”は個人差のある問題でもあります。常に子どもたちが相談しやすい雰囲気づくり努め、子どもたちの変化を見逃さないように取り組んでいきたいと思います。

【重要度】

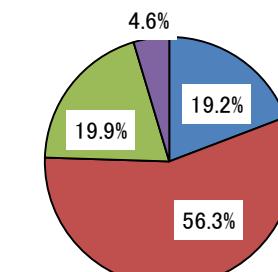
家庭では、ベルマーク・アルミ缶回収などの取り組みに進んで参加している。



- じゅうようである
- ややじゅうようである
- あまりじゅうようではない
- じゅうようではない

【実現度】

家庭では、ベルマーク・アルミ缶回収などの取り組みに進んで参加している。



- よくできている
- だいたいできている
- あまりできていない
- できない

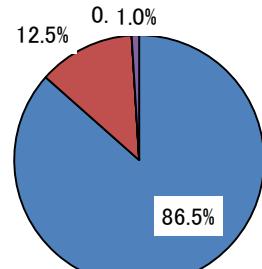
保護者アンケートの「家庭では、ベルマーク・アルミ缶回収などの取り組みに進んで参加している。」が、「重要度」と「実現度」の間でもっとも格差があった項目です。

児童アンケートでも、「よくできている」と答えていたのは、低学年は44%，中学年は30.9%，高学年は20.9%とかなり低くなっています。

この取り組みは、地域の皆様はじめPTAの皆様にもご協力いただき、古紙回収とともに学校でも取り組んでいます。まだ、承知していただいてない方もあられるのではないかと思います。皆様に周知していただけるよう、しっかり広報していきたいと思います。

【重要度】

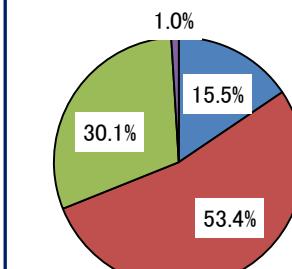
お子たちは、「あいさつ」「時間を守る」「履物をそろえる」がしっかりできている。



- じゅうようである
- ややじゅうようである
- あまりじゅうようではない
- じゅうようではない

【実現度】

お子たちは、「あいさつ」「時間を守る」「履物をそろえる」がしっかりできている。

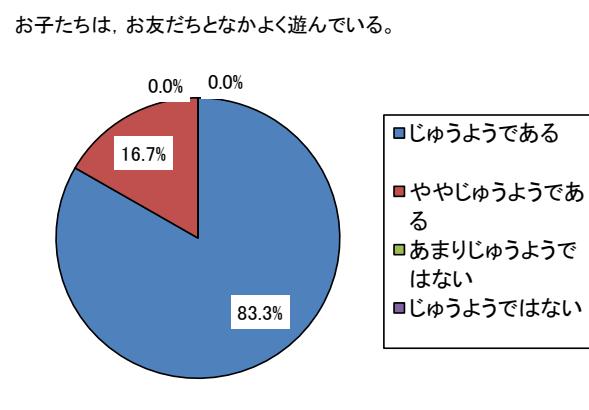


- よくできている
- だいたいできている
- あまりできていない
- できない

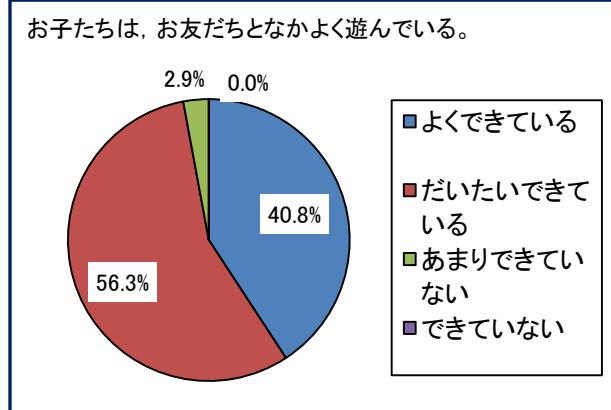
前期はよい傾向にあったのですが、少し残念な結果となっています。学校としても大切に考えている項目です。あいさつをはじめ、時間を守ることも、履物をそろえることも、その時のその人の心の有り様をあらわしているようにも思います。「時を守り、場を清め、礼を正す」人として大切なことが集約されている言葉のように思います。まず、わたしたちから襟を正していきたいです。

よく出来ていること

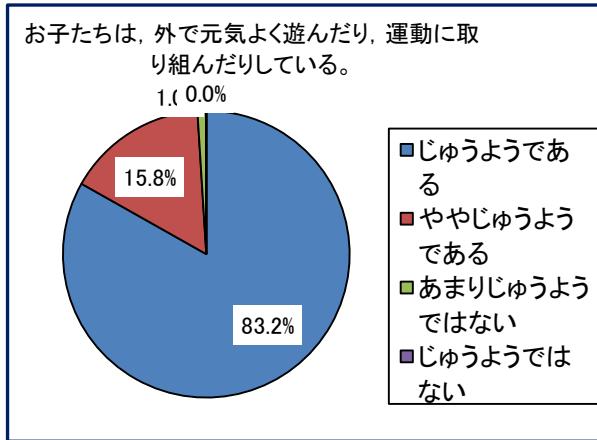
【重要度】



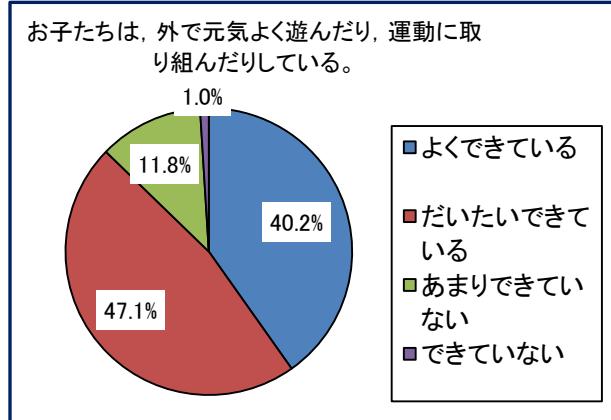
【実現度】



【重要度】



【実現度】



児童アンケートの「友だちとかよく遊んでいる。」の実現度も低学年は79.1%，中学年は84.2%，高学年は83.3%という良好な結果になっています。保護者の実現度も良い結果が出ており、保護者の皆様から見ても良好な友だち関係が築けていることを嬉しく思います。前期の保護者アンケートの自由記述欄にも「勉強はもちろんですが、学校は人とのつき合い方を学ぶところと思ってます。ご指導よろしくお願ひします。」というご意見が記述されていました。保護者アンケートの「お子たちはたのしく学校に通っている。」の実現度も高くなっています。この結果から、子どもたちにとっても「学校はたのしい。」にリンクしてくる重要な要素もあります。

児童アンケートの「外で元気よく遊んだり、運動に取り組んだりしています。」での実現度は、「よくできる」が70%ぐらいです。保護者アンケートでも実現度が高くうれしく思います。運動、食事、休養、睡眠の調和のとれた生活習慣を身に付けることが、心身の健やかな成長や健康の保持増進につながってきます。本校では、"ロング昼休み"の取り組みをはじめ、部活動にも多くの児童が参加しております。今後も、外遊びや運動の楽しさや喜び、達成感・成就感を味わい、子どもが自ら進んで運動やスポーツに親しむような取り組みを推し進めていきたいと思っております。

自由記述欄に関しましては、

保護者の皆様の記述の中から関連するものを抜粋しました。

- 「重要度」について、質問は「やや」「重要」でも同じではないかと思うし、「重要ではない」はずはないので、「実現度」だけで良いのではないか?
- 親が関わる宿題を少なくしていただきたいです。仕事と家事で忙しいです。
- 最近は「個性を尊重する」「自分を表現する」という、「自分という個人」を大切にする意識を持つことを育むことに集中するあまり、「人の話を聞く」という、「他者」への心くばりや気遣い、思いやりを育てる機会が減っているのかなと感じることがありました。我が子にも何人とか人の話を最後まで聞くという力も、同時に養っていくようにしたいと思います。
- いつも荷物が重そうなので、改善していただきたいです。
- 学習や友だちと仲良く過ごすことはできているが、外で元気に遊ぶ、のびのび友だちと創造して遊ぶという面が放課後足りていない。ストレスがたまっている。児童館も全員、宿題が終わり、揃わないと、全員、外に出れない(職員の体制)と言うが、それでは全く健全に過ごせない。せまい室内で「走るな」といつも怒られている。学校への不満ではないが、子どもの過ごす一日として、「動く」「静」を取り入れて健全な生活が送れるよう、共に考えてほしい。待機児童がますます増えて、体制が追いつかず、閉じ込められるような生活では、子どもらしい6年間を送れないと思う。子どもの脳にも良くないのではないか。
- 毎回、旗当番をするたびに、見守り隊の方々がまわりに気を配ってくださり、子どもたちが安全に通学している姿をみるとありがたい気持ちでいっぱいになります。早朝から、ありがとうございます。
- 給食が大好きで毎日献立を見て、楽しみに学校へ行きます。たくさんの工夫と給食調理員さんたちの努力と愛情で健康な身体が出来て、日々逞しくなる我が子。いつも「めっちゃ、おいしかったー！」と帰ってくる笑顔が最高です。家庭では使いにくい食材も工夫していただき、様々な味や素材にふれさせていただき、感謝しています。
- “たてわり遊び”の効果でしょうか?校外でも違う学年の子たちと公園等で仲よく遊ぶ話をしてくれています。昔はあたりまえですが、今の時代なかなか難しいことを感じているので、ほほえましく感じます。きっと、社会人になっても、そんな経験は役立つんだろうと思っています。そんな経験は有り難いです。
- 桂東小学校では、先生方がよく一人一人を見ていたいと感じます。親も子どもたちと共に成長していきたいと考えています。
- 毎日楽しく通っています。行事に行っても全体的に良い雰囲気で活気があります。ありがとうございます。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。様々な課題や今後も伸ばしていきたい桂東の魅力などを知るうえで、大きな指針となりました。また、アンケートの裏面の自由記入欄に記入いただいた事項に関しましては、教職員及び学校運営協議会理事の方とも協議して、今後の学校運営に反映させていきたいと思っております。